

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：木津川市）

タイトル 【ケアプラン点検】介護給付費適正化の推進

現状と課題

団塊の世代が75歳以上となる令和7（2025）年、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22（2040）年に向け、より一層の介護サービスの質的向上と介護保険財政の安定的な運営が求められています。介護サービスを適切に提供し、その結果としての費用の効率化を通じて、持続可能な介護保険制度の構築のため、介護給付の適正化事業を推進する必要があります。

第9期における具体的な取組

自立支援に資するケアマネジメントのため、介護支援専門員とともに、ケアプラン点検を実施。

目標（事業内容、指標等）

ケアプラン点検

【指標】ケアプラン点検件数

令和6年度	令和7年度	令和8年度
8件	8件	8件

目標の評価方法

- 時点
□中間見直しあり
☑実績評価のみ
- 評価の方法
ケアプラン点検件数をカウント

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：木津川市）

年度	令和6年度
----	-------

実施内容

- ・京都府ケアプラン点検アドバイザー派遣事業を活用し、市内居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、京都式ケアプラン点検の研修を実施。
- ・居宅介護支援事業所に介護サービス支給限度額 90%以上の利用があるケースを、ピックアップしてもらい、事前に資料提供を求め、ケアプラン点検当日にヒアリング等により実施。

自己評価結果

- ・京都府ケアプラン点検アドバイザー派遣事業を活用することで、ケアプラン点検担当者のスキルアップにもつながった。
- ・計画どおり実施することができた。

実績	令和6年度
ケアプラン点検実施事業所数	7事業所
ケアプラン点検数	9件

課題と対応策

【課題】

ケアプラン点検数や時間等に制約がある。

【対応策】

京都式ケアプラン点検に基づき、事前に居宅介護支援専門員に自己評価を実施してもらうなど、利用者の自立・重度化防止につながるサービスが適切に提供されているかの基本的な観点に基づき、ケアプラン点検担当者のスキルアップも図りながら、効率的により多くの点検ができるよう取り組む。